

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	公民科・政治経済	単位数	3単位	履修学年	4年
目標	1. 現代社会の諸問題に関して、偏見を排除して客観的な見方を養う。 2. 自らを見つめ、自分の課題と将来の展望を探っていく。 3. 意見を主張出来る力、他の人と主体的に連帯して社会を変革していく力を身につける。				
使用教材	教科書「政治・経済」（教育出版）、演習ノート（教育出版）				
評価の観点・評価規準	(関心・意欲・態度)	(思考・判断)	(技能・表現)	(知識・理解)	
	現代の社会と人間に関わる事柄についての関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけているか。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて、広い視野に立って多面的に考察するとともに、社会の変化や様々な考え方を踏まえ、公正に判断しているか。	諸資料を収集し、有用な情報を主体的に選択して、活用するとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現しているか。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけているか。	
評価方法	・学習内容についての質問等から関心度 ・定期考査での知識の定着度と記述問題の理解度		・プリントの提出度 ・プリント作業項目の完成度		
学期	学習内容		学習のねらい		
1	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原理 第1節 暮らしと政治 第2節 人権保障と法の支配 第3節 政治参加とその課題 第4節 日本の政治制度		・1年間の学習の導入として、日々の暮らしと政治の関係について考える。 ・法の下での平等、自由権、社会権、新しい人権などを理解する。 ・選挙制度と課題、世論と政治などを考える。 ・日本の政治制度を、国会、内閣、裁判所、地方自治から理解する。		
2	第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容と現代経済のしくみ 第1節 現代経済の成り立ち 第2節 現代経済のしくみ 第3節 財政のしくみと金融のはたらき 第4節 現代経済の特質と福祉の向上		・経済用語の基本について理解する。 ・市場について、種類と役割や市場機構の限界などから考える。 ・租税と国債、金融の役割などを考える。 ・社会保障、消費者保護と企業の社会的責任などを理解する。		
3	第3編 現代社会の諸問題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 第2章 国際社会の政治や経済の諸問題		・大きな政府と小さな政府、少子高齢化社会と社会保障制度などの課題を考える。 ・労使関係と労働市場、公害防止と環境保全などを理解する。 ・地球環境問題、国際経済格差の是正と国際協力などを考え、話し合う。		
学習上の留意点	現代の政治と経済の問題を、自分たちの日常生活と関連づけながら考えるようにして下さい。また、専門的な基礎用語は、知識として習得して下さい。				